

11/10  
～11

# 阿賀の鉱山

## Digging Up Week End IV

持倉鉱山を通じて見る・知る、阿賀町の過去と未来

主催：持倉鉱山遺構を護る会  
後援：阿賀町、阿賀町教育委員会  
企画：阿賀まちづくり株式会社

### スケジュール

1 日目：令和5年11月10日（金）

1. 15:00～17:00 講演会「持倉鉱山採鉱報告」からみるヤマのにぎわい  
講師：市原猛志先生      ゲストコメンテーター：天野武弘先生（産業遺産学会前会長）  
場所：道の駅 阿賀の里 2階ホール 阿賀町石間4301

2 日目：令和5年11月11日（土）

2. 9:30～12:00 「持倉鉱山現地見学会」  
場所：道の駅みかわ駐車場（トイレ側「将軍の厠」前） 阿賀町岩谷2865
3. 14:00～16:00 シンポジウム「持倉鉱山遺跡のこれから」  
（市原猛志先生、津村泰範先生のトークセッションを中心に）  
場所：阿賀町役場1階多目的ホール 阿賀町津川580

参加費 1,000円（要予約。持倉鉱山遺構を護る会会員は無料）

※各プログラム、複数でもどれかひとつでも参加可能です。参加費1000円は全部でもひとつでも変わりません。また、初日夜には懇親会付き宿泊を企画します。宿泊費は別途です。申し込みフォームから希望のプログラムを選択し、お申込みください。

募集定員 各パート50名

ご予約

お問い合わせ

070-8987-3747

阿賀まちづくり株式会社

お申込みフォーム→

<https://forms.gle/vfxRKqVuJpPW12U5A>



裏面もご覧ください 



## 講師紹介

### 市原猛志

熊本学園大学商学部 講師

1979年福岡県北九州市生まれ。大学学部生の頃より近代建築を中心とした産業遺産の研究活動を続け、2009年九州大学人間環境学府都市共生デザイン専攻修了、博士（工学）。九州大学大学文書館、九州産業大学景観研究センター、九州大学百年史編集室勤務などを経て、現職。九州大学大学文書館協力研究員、北九州市門司麦酒煉瓦館の館長職（非常勤）を務める。

世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」に関する福岡県関連事業の監修や大分県の日本遺産推進委員会委員など歴任、2013年より産業遺産学会（旧称：産業考古学会）理事。地域活動としては門司港の料亭「三宜楼」や旧小倉警察署庁舎の保存活動に関わったほか、北九州工場夜景ツアーやまちあるきツアー、世界遺産見学ツアーなどの観光事業に関しても講師・監修を行っている。北九州市産業観光パンフレット・同戸畑区近代化産業遺産パンフレット監修、主な著書として最新刊『47都道府県・産業遺産百科』（丸善出版・2023）はじめ、『産業遺産巡礼』（弦書房・2019）、『産業遺産を歩こう』（共著・東洋経済新報社）など多数。

### 津村泰範

修復建築家 / 長岡造形大学 建築・環境デザイン学科准教授

1972年埼玉県さいたま市生まれ。東京大学大学院建築学専攻修士課程修了後、長野県の降幡建築設計事務所で古民家再生を含めた主として木造住宅の設計監理等に携わった後、東京都の文化財保存計画協会にて国内の近現代建築・近代化遺産を中心とする文化財・歴史的建造物の保存再生工事の設計監理の実務を多く担当した。こうした経験をふまえ、2016年より長岡造形大学で建築保存・再生・継承・景観保全の計画や歴史的環境を活かしたまちづくり・既存ストックの活用などの実践的研究および教育を行う。その知見を生かした自治体や企業などの外部委員やアドバイザーなどを務める。